

授業科目 (科目ID)	医療機器管理 22e108		担当教員 (実務経験)	三上 剛人 救命救急センターにおいて看護師として救急医療に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	10	時間数	20時間
授業目的	救急患者を取り巻く医療機器の必要性、重要性を理解する。					
到達目標	関連する医療機器の目的と取り扱い方法を説明できる。					
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	100%	筆記試験 100%			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の留意事項	医療機器操作の基本から、種々の機器に関する取り扱い、原理を学んでいく。医療業界にはたくさんの医療機器がある。機械を使うことは、とても便利で正確に医療を提供する方法のひとつであるが、使用方法をひとつ間違えると、死にいたる危険なものもたくさんある。しっかりと学ぶこと。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	医療機器管理概論 (本吉)	さまざまな機器類の紹介や必要性について。			
	2	医療機器管理概論 (本吉)	医療用電源と一般電源の違いなど講義します。			
	3	人工呼吸器 (三上)	呼吸機能の基礎と人工呼吸器の原理			
	4	パルスオキシメーター (三上)	原理、構造、適応、注意点等、演習を交えます。			
	5	モニター心電図 (三上)	原理、構造、適応、注意点等、演習を交えます。			
	6	輸液ポンプ (三上)	原理、構造、適応、注意点等、演習を交えます。			
	7	除細動器 (三上)	原理、構造、適応、注意点等、演習を交えます。			
	8	在宅医療で使用する医療機器 (三上)	病院と在宅の違い。在宅機器操作時の注意点など			
	9	その他の医療機器 (三上)	診断機器について解説していきます。			
	10	まとめ (三上)	これまでの講義のまとめと総合問題演習			
	11					
	12					
	13					
	14					
15						

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	形態機能学 I (解剖、身体機能) 22e109	担当教員 (実務経験)	佐藤 真紀子 医療機関において助産師として従事し、当該科目の教育を行う。 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	4単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	30	時間数	60時間
授業目的	各器官の構造と機能を学ぶことにより、その後に学ぶ救急医学の基礎を築くこと。				
到達目標	正常な人体の肉眼的構造を学び、その機能について理解する。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト ・生体のしくみ 第3版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	30%			
履修上の留意事項	人体臓器の位置構造をしっかりと学ぶ。教科書を中心に、スライド、プリント、模型などを用いて講義を行う。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	解剖学序論	講義オリエンテーション		
	2	身体を構成する要素	細胞 組織 器官 体液		
	3	体表からみる人体の構造	人体の位置・方向、体表からみた構造・名称、身体の各部位		
	4	神経系	神経系の構成、中枢神経系 末梢神経 自律神経 脳神経		
	5	感覚系	視覚器、平衡聴覚器、味覚器、臭覚器		
	6	呼吸系	気道 胸郭 肺 ガス交換 呼吸の働き		
	7	循環系	循環系の構成 心臓 脈管 循環の制御		
	8	消化系	口腔・咽頭 消化管 肝臓・胆道系 膵臓 腹膜・腹腔		
	9	泌尿系	腎臓、尿管、膀胱、尿道、		
	10	中間確認	人体の構造～泌尿系(問題演習)		
	11	生殖系	男性生殖器 女性生殖器		
	12	内分泌系	内分泌器官 ホルモン		
	13	血液・免疫系	血液 血球 血漿 骨髄 脾臓 止血と凝固 免疫		
	14	筋・骨格系	四肢の主な骨格筋 骨・関節 靭帯・腱 脊柱の構造		
15	皮膚系	皮膚の構造 皮膚の役割			

履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容
	16	生命維持	栄養素と代謝 恒常性
	17	講義のまとめ	練習問題
	18	解剖学総合演習	人体の構造と機能
	19	解剖学総合演習	神経系
	20	中間確認	生殖系～生命維持(問題演習)
	21	解剖学総合演習	呼吸系
	22	解剖学総合演習	循環系
	23	解剖学総合演習	消化系
	24	解剖学総合演習	泌尿系
	25	解剖学総合演習	内分泌系
	26	解剖学総合演習	血液・免疫系
	27	解剖学総合演習	国試頻出問題
	28	解剖学総合演習	練習問題
	29	解剖学総合演習	練習問題
30	総合確認	問題演習	

授業科目 (科目ID)	形態機能学Ⅱ(生理、生化学) 22e110		担当教員 (実務経験)	中川 健斗 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	人体を構成している細胞に共通する生理機能と血液の組織、免疫等を理解し、生命現象の基本である呼吸、循環の機能および消化、吸収、排泄の仕組みを理解する。				
到達目標	人体の作りと役割を細胞、組織の概念から説明できる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト ・生体のしくみ 第3版				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	80%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	20%			
	提出物	%			
その他	%				
履修上の留意事項	救急救命士標準テキストを中心に、参考書を使用しながら進めていく。予習・復習をしっかりとしないと定期試験に影響する。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	生理学総論・情報の伝達	細胞の構造と機能・細胞内外間の物質の移動 興奮の発生と伝達・シナプス伝達・細胞内情報伝達		
	2	筋系	筋収縮のメカニズム(骨格筋・平滑筋・心筋)		
	3	神経系	神経の構造・中枢神経系(脳、脊髄)、末梢神経系		
	4	血液系・免疫系	血液の成分と働き(赤血球・血小板)免疫のしくみ・白血球の役割・アレルギー		
	5	循環器系	循環器系のしくみと働き・血管の構造と機能・血圧・リンパ液の働き		
	6	呼吸器系	呼吸器系の構造・呼吸筋の働き		
	7	消化器系	消化管の構造と機能・消化と吸収		
	8	泌尿器系	腎臓の基本的機能・ネフロン・腎不全・利尿薬		
	9	内分泌系	内分泌総論・HPA axis・甲状腺ホルモン・膵臓ホルモンと糖尿病・性ホルモンなど		
	10	生化学総論・糖類・糖質代謝	糖質の分類・グルコースの化学構造・解糖系・TCA回路・電子伝達系・糖新生		
	11	生化学総論・糖類	糖質の分類・グルコースの化学構造		
	12	脂質代謝	脂質代謝・ケトン体・脂肪酸の生合成・コレステロールの生合成		
	13	タンパク質・アミノ酸	タンパク質の分類・アミノ酸の分類・タンパク質代謝・アミノ酸代謝・尿素回路		
	14	核酸の性質・DNA・タンパク質合成	核酸塩基の分類・DNAの構造・DNAの合成・mRNAの合成・タンパク質の合成		
15	ビタミン	ビタミンの分類(脂溶性、水溶性)、役割			

授業科目 (科目ID)	病理学 22e111		担当教員 (実務経験)	曾我部いづみ 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 歯科医師であり、大学病院において口腔外科医員として勤務し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	人体の構造と機能において正常から逸脱する症状・徴候のメカニズムに共通する現象を理解する。					
到達目標	疾患の成り立ちから回復の過程までを体系的に説明することができる。					
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	90%	定期試験等を基に総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	%				
	提出物	%				
その他	10%					
履修上の留意事項	病態論を参考書を元に解説します。救急救命士標準テキストとも照らし合わせながら進めていく。救急救命士標準テキストは、予習を行う際に活用すること。 ①遅刻・中途退室 ②私語・携帯の電源 ③居眠り ④提出物 ⑤その他 授業の進行に差し障りのある行為に対する諸注意。					
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	病理学概論	疾病の一般			
	2	病理病態論	炎症・感染症(1)			
	3	病理病態論	炎症・感染症(2)			
	4	病理病態論	循環障害(1)			
	5	病理病態論	循環障害(2)			
	6	病理病態論	細胞障害(1)			
	7	病理病態論	再生と創傷治癒			
	8	病理病態論	免疫(1)			
	9	病理病態論	免疫(2)			
	10	病理病態論	腫瘍			
	11	病理病態論	細胞障害(2)			
	12	病理病態論	先天異常			
	13	病理病態論	酸塩基平衡			
	14	病理病態論	老化			
15	まとめ	生理学的要因				

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	薬理学 22e112		担当教員 (実務経験)	吉田 楓 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	10	時間数	20時間
授業目的	救急医療に必要な薬物の知識を習得する。					
到達目標	薬物とは何か、薬物の体内動態、投与経路の違いについて説明できる。 アドレナリン・乳酸リンゲル液・ブドウ糖の薬理作用を説明できる。					
テキスト・ 参考図書等	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト ・クイックマスター薬理学(購入不要) ・図解薬理学(購入不要) 					
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準			
	試験	50%	定期試験・小テスト等を基に総合的に評価する。			
	レポート	%				
	小テスト	50%				
	提出物	%				
	その他	%				
履修上の 留意事項	プリントを中心に講義形式で行う。評価は試験の成績、各授業ごとに行う簡単な小テスト、参加態度などを総合的に判断する。詳細は初回の授業で説明。					
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容			
	1	薬理学の基礎	薬理学の概要、薬物と法令、薬物と作用、薬物受容体			
	2	薬物動態	薬物の吸収・分布・代謝・排泄			
	3	薬理作用に影響を与える要因	薬理作用に影響を与える要因			
	4	自律神経系	交感神経作用薬、副交感神経作用薬			
	5	中枢神経系	向精神薬			
	6	物質代謝系	内分泌系、糖代謝と糖尿病治療薬、輸液製剤			
	7	心臓血管系	高血圧治療薬、狭心症治療薬、抗凝固薬			
	8	日常的によく使われる薬	抗炎症薬、抗アレルギー薬、感染症治療薬			
	9	まとめ①	問題演習			
	10	まとめ②	問題演習			

授業科目 (科目ID)	臨床検査・放射線 22e113		担当教員 (実務経験)	星 直樹 病院検査部において臨床検査技師として検査業務に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 2単位
授業形態	講義		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	①臨床検査についての基礎知識を習得し、得られた検査データを基に患者の状態を推定する能力を養う。また、代表的な疾病と検査データに関する知識を習得する。②放射線の基礎知識と生物に与える影響を学ぶ。				
到達目標	基本的な臨床検査の内容や検査値などを説明することができる。 放射線の人体への影響について説明することができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト ・プリント資料				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	定期試験 100% ・臨床検査分野 70% ・放射線分野 30%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	救急救命士標準テキストの検査、放射線の知識の項目に沿って進めていく。予習、復習を心がけること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	臨床検査	臨床検査の免疫学的検査(免疫とアレルギー)を学ぶ。		
	2	臨床検査	臨床検査の免疫学的検査(免疫と輸血)を学ぶ。		
	3	臨床検査	臨床検査の血液学的検査(白血球の分類)を学ぶ。		
	4	臨床検査	臨床検査の血液学的検査(凝固と線溶)を学ぶ。		
	5	臨床検査	臨床検査の生化学的検査(肝機能と腎機能検査)を学ぶ。		
	6	臨床検査	臨床検査の生化学的検査(糖と脂質、ホルモン)を学ぶ。		
	7	臨床検査	臨床検査の生理学的検査(心電図検査)を学ぶ。		
	8	臨床検査	臨床検査の生理学的検査(その他の生理学的検査)を学ぶ。		
	9	臨床検査	臨床検査の微生物学的検査(細菌の種類と特徴)を学ぶ。		
	10	臨床検査	臨床検査の微生物学的検査(細菌と疾患)を学ぶ。		
	11	放射線 (杉本)	X線診断(骨折)、放射能・放射線の基礎知識を学ぶ。		
	12	放射線 (杉本)	X線診断(胸部・腹部)、放射線被ばくを学ぶ。		
	13	放射線 (杉本)	X線診断(脳疾患)、放射線計測を学ぶ。		
	14	放射線 (杉本)	X線診断(心疾患)、放射線防護を学ぶ。		
15	放射線 (杉本)	CBRNE災害、要救助者対応を学ぶ。			

授業科目 (科目ID)	臨床検査・放射線 22e113	担当教員 (実務経験)	池上 淳子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療施設において臨床検査技師として検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	1年・後期	担当教員	坂爪 恵子
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療施設において臨床検査技師として検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	川村 隆志
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 医療施設において臨床検査技師として検査業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	杉本 健
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床放射線技師として病院に勤務し、当該科目の教育を行う
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

救急救命学科

授業科目 (科目ID)	健康と社会保障 22e114	担当教員 (実務経験)	今谷 正則 保健所において衛生行政に携わり、当該科目の教育を行う 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	わが国の保健・医療に関する業務とそれを支える諸制度を理解し、そこにおいて救急救命業務はどのような位置を占め、救急救命士はどのような役割を受け持っているかを十分に理解する。関連分野の業務とそれに関わる法規について概要を学ぶ。				
到達目標	保健医療制度の仕組みと現状について説明ができる。 社会保障と社会福祉を支える仕組みについて説明ができる。				
テキスト・参考図書等	・改訂 第10版 救急救命士標準テキスト ・プリント資料				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	90%	定期試験・課題提出状況等を基に総合的に評価する。		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	10%			
	その他	%			
履修上の留意事項	従来保健医療従事者にとって、保健医療(公衆衛生)に関する制度や関係法規は関心が薄い等、理解が難しい分野といわれてきたが、憲法にも規定されているように、保健医療(公衆衛生)は社会福祉とともに国民の健康な生活を保障するための社会保障制度を構成する柱であり、現在では理論や技術だけではなく、社会政策と考えられるようになってきていることを理解して勉学に励んでもらいたい。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	保健医療制度(1)	医療を取り巻く環境		
	2	保健医療制度(2)	医療供給体制		
	3	保健医療制度(3)	公衆衛生		
	4	保健医療制度(4)	環境保健		
	5	保健医療制度(5)	労働衛生・学校保健		
	6	保健医療制度(6)	母子保健		
	7	保健医療制度(7)	老人保健		
	8	保健医療制度(8)	地域保健		
	9	保健医療制度(9)	国民医療費の動向、給付率と負担率		
	10	保健医療関係法規(1)	医療法・医師法・保健師助産師看護師法・救急救命士法		
	11	保健医療関係法規(2)	薬事法・臓器移植法・感染症法(予防接種法)・健康増進法		
	12	社会保障と社会福祉(1)	社会保障と社会福祉の概念・社会保障給付と国民負担		
	13	社会保障と社会福祉(2)	社会福祉関係法規・社会福祉の現状		
	14	保険制度(1)	医療保険制度		
15	保険制度(2)	介護保険制度・年金制度			